

総合判定依頼書

別紙1

〒374 509 協会 太郎様 愛媛県知事部局 本庁職員厚生課

事務所番号: 10000184

性別: 男性 生年月日: 昭和57年5月31日生 個人番号: 900000000001 健康番号: 保険証番号: 保険証番号:

総合判定

肝機能検査 胸部X線検査 1度高血圧(軽症) 高中性脂肪 腎機能低下 尿蛋白 要精検 要精検 要指導 要指導 要指導 要指導 要指導

コメント

上記の項目については、保健所等からアセスメントを受けることをお勧めします。(医療機関受診の必要性は当面ありません)

診察所見・診察医師コメント

特記事項なし 不整脈: 特記なし 貧血: 特記なし 心音: 特記なし 呼吸音: 特記なし 甲狀腺: 特記なし

既往歴

問診票回答 (特定健診) 1 血圧を下げた事 2 インスリン注射又は血糖を下げる薬 3 コレステロールを下げる薬 4 糖尿病を患ったことがある 5 心臓病を患ったことがある 6 腎臓病を患ったことがある 7 骨髄炎を患ったことがある 8 けいれんを患ったことがある 9 20歳以上の喫煙者であったことがある 10 20歳以上の酒を飲むことがある 11 1日1回以上身体活動 12 過去1年間に喫煙している 13 過去1年間に飲酒している 14 人として生活している 15 医師の診断による病状がある 16 糖尿病を患ったことがある 17 腎臓病を患ったことがある 18 心臓病を患ったことがある 19 けいれんを患ったことがある 20 骨髄炎を患ったことがある

メタボ判定

メタボ判定 前回

積極的支援

前回

たばこ喫煙履歴

前回

特殊検診

船舶 電磁放射線 特定生物 肺機能検査 腎臓超音波 振動検査

その他

自覚症状

産業医区分: 本庁

検査情報

受診日(西暦) 2023/4/2 受診午前(特定健康日による) 40歳 受診採血時間 15:00時間

検査項目 基準値 判定 検査値 単位 検査値 検査値

検査項目 結果 判定 今回 前回 前々回

検査項目 結果 判定 今回 前回 前々回

検査項目 検査値 判定 検査値 単位 検査値 検査値

検査項目 結果 判定 今回 前回 前々回

検査項目 結果 判定 今回 前回 前々回

検査項目 検査値 判定 検査値 単位 検査値 検査値

検査項目 結果 判定 今回 前回 前々回

検査項目 結果 判定 今回 前回 前々回

検査項目 検査値 判定 検査値 単位 検査値 検査値

検査項目 結果 判定 今回 前回 前々回

検査項目 結果 判定 今回 前回 前々回

検査項目 検査値 判定 検査値 単位 検査値 検査値

検査項目 結果 判定 今回 前回 前々回

検査項目 結果 判定 今回 前回 前々回

※今年度内に受診された他の検査結果が再送される場合があります。ご了承ください。

【別添】 *経歴の問題 △やや高い ▲高い ▼やや低い ▼低い

医師の意見 A 異常なし B 放置可 C 要観察 D 要指導 E 要精検 F 要精検 要指導 G 要治療(治療中受診)

就業区分 D E F

産業医名

※精密検査が必要な場合やからの病気で治療中の場合は、 診断結果を医療機関に持参して、みてもらいます。

定期健康診断結果連名簿

本庁職員厚生課 安全衛生管理者 様

所属コード：10780

貴所属職員様の定期健康診断の結果を下記のとおり、御報告いたします。

なお、要精検・要再検・要医療(治療中除く)が1つでもある方は、速やかに医療機関を受診してください。

産業医所見凡例
D:通常勤務で支障ありません
E:就業制限の必要があります
F:休業の必要があります

年齢は4/1現在

項番	健康管理番号 (健診者番号)	カナ 氏名	性別	年齢	健診日	総合判定	産業医 所見
1	(9000000000001)	キョウカイ タロウ 協会 太郎	男	40	2023年 4月 2日	肝機能障害 要精検 胸部X線検査 要精検 I度高血圧(軽症) 要指導 高中性脂肪 要指導 腎機能低下 疑い 要指導 尿潜血 要再検	



年に一度の健康診断でヘルスチェック

がん検診

がん検診では、すべてのがんを発見できるわけではありません。
何か自覚症状や異常を感じたら、なるべく早く医療機関を受診してください。

胸部検診	主に職場の健康診断として行われる検査で若い方にも受診いただけます。胸部CTが用いられることもありますが、被ばく線量が増えるため若年者には積極的にお勧めしておりません。						
肺がんES検診	1回の撮影で、通常画像、軟部画像、骨画像の3枚を生成します。病変の発見に妨げとなっていた肋骨画像を除去し、病変の早期発見と鑑別に役立つ画像が得られます。						
大腸がん検診	大腸内にがんなどの異常があると出血し便に血が混じります。目に見えない微量の血液を検出できます。						
胃がん検診	バリウムを飲み胃の中の様子を観察しながらX線撮影をします。悪性疾患(胃がん)の他に良性疾患(慢性胃炎、胃潰瘍、ポリープなど)が見つかることもあります。						
子宮頸がん検診	子宮頸部からブラシで細胞を採取し、がん細胞はもちろん、がんになる前の異常細胞が出現していないかを調べる検査です。子宮頸がんの原因とされるヒトパピローマウイルスを検出するHPV検査は、残った材料で調べることができます。しかし、子宮体部のがんはこの検査では十分に調べることはできません。						
乳がん検診(マンモグラフィ)	X線を使って乳房を撮影し、病変を見つけるための検査です。乳腺が発達していると病変をみつけにくい場合があることから、原則40歳以上の方にお勧めします。						
乳がん検診(乳房超音波)	超音波により、乳がんを見つける方法です。乳腺の発達した方や若年者の方にお勧めします。						
前立腺がん検診(PSA)	前立腺がんでは血液中のPSA値(前立腺特異抗原)が増加しますので、採血してその量を調べる検査です。精密検査をお願いするPSA値は年齢によって異なります。(下表のとおり)						
	<table border="1"> <tr> <td>70歳以上</td> <td>65~69歳</td> <td>64歳以下</td> </tr> <tr> <td>4.1ng/ml以上</td> <td>3.6ng/ml以上</td> <td>3.1ng/ml以上</td> </tr> </table>	70歳以上	65~69歳	64歳以下	4.1ng/ml以上	3.6ng/ml以上	3.1ng/ml以上
70歳以上	65~69歳	64歳以下					
4.1ng/ml以上	3.6ng/ml以上	3.1ng/ml以上					

がん検診判定のみかた

判定	判定の説明
異常なし	今回の検診では異常はありませんでした。 ▶なお、これからも定期的ながん検診をお受けください。
放置可	がんを疑わせる異常はありませんが、何らかの良性の所見が見られた場合、放置可となります。このような良性の所見は多くの方に見つかるもので、過度に心配する必要はありません。 ▶ただし、自覚症状や何らかの異常があった場合には、早めに医療機関を受診してください。 ▶なお、これからも定期的ながん検診をお受けください。
要観察	軽度な異常はありますが、精密検査を受ける必要はありません。日常生活に気をつけて、毎年、がん検診を受けましょう。 ▶ただし、自覚症状や何らかの異常があった場合には、早めに医療機関を受診してください。
要精密検査(要精検)	精密検査が必要と判定される所見が認められましたので、できるだけ早く、専門医療機関で検査を受けてください。 ▶ただし「要精検」の方すべてが、精密検査の結果「がん」と診断されるわけではありません。(※下記ウェブサイトをご参照ください)。精密検査により「がん」、良性病変(治療を要する、要さない)、何も異常が認められない等と診断されます。

尿検査

尿蛋白
尿潜血
腎機能障害などの泌尿器系疾患の評価に重要な検査です。健康な場合でも、食事・激しい運動・ストレス・服薬などの影響を受けて、陽性になることがあります。

脂質

中性脂肪(TG)
HDLコレステロール
LDLコレステロール
これらは脂質異常症(高脂血症)の評価に用います。中性脂肪・LDLコレステロールの高値、HDLコレステロールの低値を長期間放置すると心臓病などになりやすくなります。HDLコレステロールは運動や肥満解消、禁煙で改善します。中性脂肪は空腹時に比べて食後に高値になりますので、食後に採血した場合は結果の評価に注意が必要です。

肝機能

AST(GOT)
ALT(GPT)
γ-GTP
ASTやALTは肝細胞中に多く含まれ、細胞が障害されると上昇するので、主に肝機能の評価に用います。γ-GTPは、特にアルコール性肝障害で上昇します。

糖代謝

血糖(GL)
HbA1c(NGSP)
尿糖
これらが糖尿病の有無を判定します。そのうち、HbA1cは過去1~2か月の血糖がうまくコントロールされているか判定するものです。

貧血・血球

赤血球数(RBC)
血色素量(Hb)
血球容積(Ht)
白血球数(WBC)
貧血は栄養、特に鉄分の不足や慢性の出血によるものが多く見られます。また女性では子宮筋腫や子宮内膜症など婦人科的な病気による場合もあります。
白血球は体内の免疫機能をつかさどる重要な細胞です。

追加項目

総コレステロール
尿酸(UA)
尿素窒素UN(BUN)
eGFR(推算糸球体濾過量)
クレアチニン
血中コレステロールが高すぎる場合、動脈硬化の原因となります。また低すぎると甲状腺や肝臓の病気など基礎疾患がある場合があります。
血中量が増えると関節に沈着し、痛風を起こします。
体内でいらなくなったもので、腎臓の機能が低下すると排泄できなくなり、血液中に増えていきます。
eGFRは腎臓にどれくらい老廃物を尿中へ排泄する力があるかを示す指標で、値が低い場合(60.0未満)には慢性腎臓病(CKD)の可能性があります。あなたのクレアチニン値、性別、年齢から計算される値で、慢性腎臓病(CKD)の評価のために重要です。

肝炎

HBs抗原
HBs抗体
C型肝炎ウイルス検査
B型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルスの感染の状態を調べる検査です。

骨粗鬆症検診

骨粗鬆症とは骨量が減少し骨折しやすくなった状態をいいます。超音波を用いて骨の状態を検査しています。

腹部超音波検診

主に肝臓、胆のう、膵臓、腎臓、脾臓などの異常の有無を超音波を使って検査します。

〈腹部超音波検査で経過観察と判定された方へ〉
「精密検査」がただちに必要ではないものの、軽度の異常が見つかった場合、「経過観察」と判定されることがあります。自覚症状や何らかの異常があった場合には早めに医療機関を受診してください。

(10000184)

愛媛県知事部局

本庁 職員厚生課

協会 太郎 様



御客様番号：900000000001

【お知らせ】
eGFRによる腎機能評価を一部変更しました。
「要指導：慢性腎臓病(疑い)」⇒「要指導：腎機能低下(疑い)」

本庁

健康診断結果のお知らせ 親展



14200066

健康診断を受診されたみなさまへ

- その日の体調などにより数値は変化します。
- 検査結果の数値等に一喜一憂せず、医師の指示に従うことが大切です。
- 定期的に検査を受けて健康に気を付けましょう。

総合判定のみかた

判定	判定の説明
A 異常なし	今回の健康診断の結果、異常はありませんでした。次回の健康診断も受診してください。
B 放置可	軽度の変化が認められましたが、特に今後の健康状態には影響しないと思われます。
C 要観察	軽度な異常はありますが、直ちに病的とは言えません。体調に変化がなければ次回の検査まで様子を見てよいと思われます。日常生活には注意しましょう。
D 要指導	軽度な異常所見が認められました。直ちに更なる精密検査や治療を受ける必要はありませんが、医師・保健師・管理栄養士等の指導を受けて、生活習慣の改善をされるようおすすめします。
E 要再検	軽度な異常が認められました。これは一時的なものである可能性があり、医療機関等で再検査を受けられるようおすすめします。
F 要精検	異常が認められました。異常の程度を確認するため、早めに医療機関で精密検査を受けられるようおすすめします。
G 要医療	異常が認められました。疾病の存在が明らかと思われるので、早急に医療機関を受診して治療を受けられるようおすすめします。既に治療されている方は今後も医療機関受診を続けてください。

BMI

BMI指数はBody Mass Indexの略で国際的に最も用いられる肥満度を測る指数です。
【計算方法】 体重(kg) ÷ 身長(m) ÷ 身長(m) と計算します。

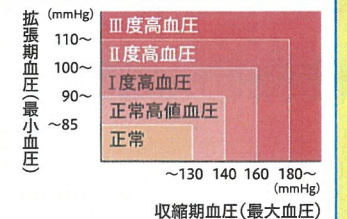
18.4以下	18.5~24.9	25.0~29.9	30.0以上
やせ気味	標準	太り気味	太りすぎ

腹囲

「メタボリックシンドローム」(内臓脂肪症候群)の診断基準となる腹囲(へそ回り)測定。男性85cm以上、女性90cm以上で「メタボリックシンドローム」の可能性がります。

血圧

高血圧は脳卒中や心臓病などの動脈硬化性疾患の危険因子として、非常に重要です。脳卒中や心臓病の予防のためには、血圧を正しく管理し、できるだけ適切な値を保つことが大切です。



心電図

心臓からの微弱な電流をとらえ、心臓の状態を評価します。不整脈や虚血性心疾患など心臓の病気を発見する手がかりになります。

眼底

眼球の奥(眼底)の写真をとって、その状態を検査します。糖尿病や高血圧では目の合併症を起こすことがあり、定期的に眼底検査を行うことが大切です。また緑内障など目の病気が見つかる場合もあります。

【Scheie分類(シェイエの分類)】
H…高血圧による眼底変化の程度を示したもの(0~4度)
S…動脈硬化による眼底変化の程度を示したもの(0~4度)
※0が正常、1~4度で数が多いほど重症です。

※国立がん研究センターがん情報サービス <http://ganjoho.jp>
医療関係者向けサイト>予防・検診>がん検診について 表7の項目「陽性反応適中度」

健康診断結果のお知らせ



わがいの
協会 太郎 様
(10000184)
愛媛県知事部局
本庁 職員厚生課

性別: 男性
生年月日: 昭和57年5月31日生
個人番号: 900000000001

愛媛県イメージアップキャラクター
みぎやん 許諾番号 2706055

総合判定

肝機能障害 要精検
胸部X線検査 要精検
I度高血圧(軽症) 要指導
高中性脂肪 要指導
腎機能低下 要指導
尿潜血 要再検

疑い
要再検

コメント

腹囲85cm以上
空腹時血糖値100mg/dl以上
LDLコレステロール120mg/dl以上
軽度の尿酸値高値

上記の項目については、保健師等からアドバイスを受けることをお勧めします。(医療機関受診の必要は当面ありません)

診察所見・診察医師コメント

特記事項 なし
心音: 特記なし 不整脈: 特記なし 貧血: 特記なし
呼吸音: 特記なし 甲状腺: 特記なし

病歴

※下記のリスク分析は該当項目の実施・問診等がなければ空白です。

メタボリックシンドローム関連因子の状況(受診された項目のみ)

腹囲	血圧※1	血糖※2	脂質	×: リスクあり
BMI: ○	×	○	○	○: 現在リスクなし
腹囲: ×				薬: 服薬中

メタボリックシンドローム判定

今回	基準該当	前回

※1 血圧は①・②の平均値を使って判定しています。
※2 血糖(食後10時間以上)またはHbA1cを使って判定しています。

特定保健指導 階層化シミュレーション結果

今回	積極的支援	前回

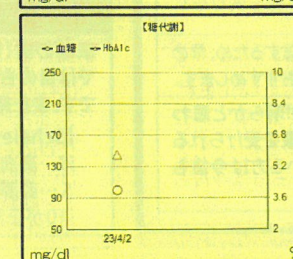
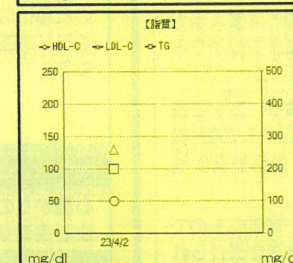
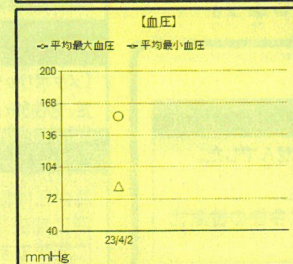
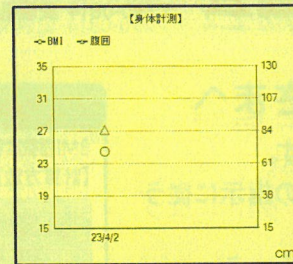
たばこ(喫煙歴)

特殊検診 他

じん肺	鉛
石綿	電離放射線
有機溶剤	特化物
有害光線	肺機能検査
情報機器	
頭肩腕障害	
振動障害	

その他

自覚症状	



検査情報		今回	前回	前々回		
受診日(西暦)		2023/4/2				
年齢(指定基準日による)		40歳				
食後採血時間		空腹時(10時間以上)	15.0時間			
検査項目	基準値	判定	検査値	単位	検査値	検査値
身長			175.0	cm		
体重			75.0	kg		
BMI	18.5~24.9	C	24.5			
腹囲	男性: 85未満 女性: 90未満		85.0	cm		
肥満度			11.2	%		
視力	右 裸眼・(矯正)		1.0			
	左 裸眼・(矯正)	A	1.0			
	両 裸眼・(矯正)					
聴力	右 1KHz・4KHz	A	所見なし	所見なし		
	左 1KHz・4KHz		所見なし	所見なし		
血圧	① 最高/最低	D	150 / 80	mmHg		
	② 最高/最低		160 / 90	mmHg		
	①・②の平均		155 / 85	mmHg		
尿検査	尿蛋白	E	(-)	(±)		
	尿潜血		(+)	(+)		
	ウロビリノーゲン		(正)	(正)		
脂質	中性脂肪(TG)		△ 200	mg/dl		
	HDLコレステロール		50	mg/dl		
	LDLコレステロール	D	* 130	mg/dl		
	総コレステロール		130	mg/dl		
肝機能	AST(GOT)	F	▲ 100	U/l		
	ALT(GPT)		△ 50	U/l		
	γ-GTP		△ 90	U/l		
糖代謝	血糖 食後10時間以上		* 100	mg/dl		
	3.5~10時間未満		125	mg/dl		
	3.5時間未満	C	* 5.8	%		
	HbA1c(NGSP)		5.6	%		
	尿糖		(-) ~ (+)			
腎機能	尿素窒素UN(BUN)	D	▽ 55.1	mg/dl		
	eGFR		△ 1.20	mg/dl		
	クレアチニン(CRE)		500	10 ³ μL		
貧血・血球	赤血球数(RBC)	A	16.0	g/dl		
	血色素量(Hb)		50.0	%		
	血球容積(Ht)		7.5	mg/dl		
	白血球数(WBC)					
	UA					
追加項目	HBs抗原(MAT法)	(-)	8倍未満			
	HBs抗原(CLIA法)	(-)	0.01~0.04			
	HBs抗体(PHA法)	(-)	8倍未満			
	HBs抗体(CLIA法)	(-)	9.9以下			
	HCV抗体(CLEIA法)	(-)	0.9以下			

検査項目	判定	今回	前回	前々回
心電図	結果	正常範囲・放置可		
所見	B			
眼底	結果	異常なし		
HS分類		右H:0 S:0		
所見	A			
胸部X線	結核結果	要精検	2023/4/2	胸部X線
他	肺がん結果	要精検	2023/4/2	胸部X線
所見	F	縦隔縦隔腫瘍疑い		
喀痰	結果			
大腸	結果			
胃がん	結果			
所見				
子宮がん	結果			
頭部	結果			
体部	結果			
乳腺	マンモグラフィ結果			
乳房超音波	結果			
視触診	結果			
乳がん	所見			
前立腺	結果			
骨粗鬆症	結果			
検査値				
腹部超音波	結果			
所見				

※今年度内に受診された他の検診結果が再掲される場合があります。ご了承ください。
※総合判定は各種検査項目を総合的にみて判断しているため、個々の検査項目の判定とは差異を認める場合があります。
※精密検査が必要な場合や何らかの病気で治療中の場合は、健診結果を医療機関に持参して、みてもらいましょう。

【判定】A 異常なし B 放置可 C 要観察 D 要指導 E 要再検 F 要精検 G 要医療(治療中含む)

【凡例】* 軽度の問題 △ やや高い ▲ 高い ▽ やや低い ▼ 低い

診療情報提供書
(胸部検診精密検査依頼書)

主治医 様

当協会で開催しました集団検診の結果、精密検査を要するものと判定いたしました。
つきましては、御多忙中恐縮に存じますが、御高診、御治療のほどよろしくお願い申し上げます。
また、その結果につきまして別紙「胸部検診精密検査結果報告書」に御記入の上御返信くださいます
ようお願い申し上げます。

胸部検診 胸部X線 検診日 2023年04月02日 No. Z005 キョウカイ タロウ 協会 太郎 様 S57/5/31 (40) 男 ID: 900000000001		
	所 属	愛媛県知事部局 本庁
	備 考	

● 部 位

縦隔

● 所 見

縦隔腫瘍疑い

● 判 定

D4

「肺、心大血管以外の病変」

「肺癌集団検診の手引き」(日本肺癌学会 集団検診委員会編)

2023年 4月 7日



胸部検診精密検査結果報告書

検査ID 知

患者氏名 協会 太郎 様

検診日 2023年04月02日

胸部X線

生年月日 昭和57年5月31日 (40歳)

検診場所

性別 男 ID: 9000000000001

所属 愛媛県知事部局 本庁

精検実施日 (または受診日)	年 月 日	下記の各項目に【○】印など御記入をお願いいたします。
検査方法	1. X線 2. 気管支鏡 3. 細胞診 4. 組織診 5. CT 6. 高分解能CT 7. その他 ()	
診断名	1. 異常認めず 2. 原発性肺がん 3. 肺がんの疑い 4. 転移性肺がん (原発部位:) 5. 縦隔腫瘍 () 6. 慢性気管支炎 7. 肺気腫 8. 陳旧性炎症性変化 9. 慢性肉芽腫 10. 肺内リンパ節 11. 肺炎 12. 器質化肺炎 13. 肺結核 14. 非結核性抗酸菌症 15. 間質性肺炎 16. じん肺 17. 胸膜炎 18. 無気肺 (部分無気肺) 19. 気胸 20. 心疾患 () 21. その他の疾患 ()	
主な病変の位置	診断後の処置 (方針)	
左上葉、左下葉	1. 放置 2. 化学療法 3. 放射線療法 4. 手術予定 (年 月 日 予定) 5. 手術済 (年 月 日) 6. 経過観察 (ヶ月)	
右上葉、右中葉、右下葉	7. 他院へ紹介 病院名: () 紹介先医師名: ()	
縦隔	8. その他 ()	
陰影についてのコメントなど		
記入年月日	年 月 日	
医療機関名	御担当医師名	

※検査後の確定診断、予後の調査をさせていただく事がありますのでご協力をお願いいたします。
※別添の返信用封筒にて投函ください。



